

# 我が家の家計簿

ズバット!

診断

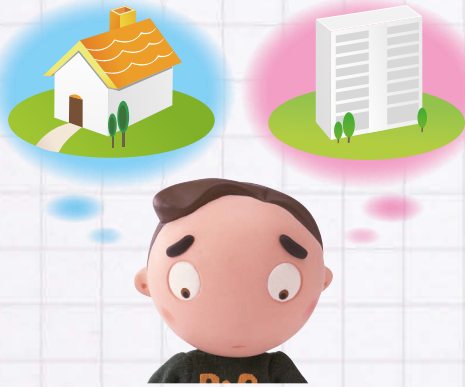
マイホーム  
購入検討中

一戸建て or マンション  
どちらがよいのか!?

夫婦ともに会社勤務です。昨年は長男の出産で妻は産休・育休を取得していましたが、今年の年初から復職しています。

子供ができたことを契機にマイホームを検討しています。できることならば、住み慣れた今の地域で庭付きの新築一戸建ての購入といきたいところですが、土地の価格の高さに驚きました。加えて、都心は土地情報も少なく、私達が希望しているものとギャップがあるので、都心での新築一戸建ての購入は難しいと判断しました。

それならば、職場から離れた郊外での購入がよいのか、それとも住み慣れた都心にこだわり、マンションという選択肢がよいのか、考えれば考えるほど楽しいはずのマイホーム選びがだんだんストレスに変化してきました。



Q 郊外一戸建てがよいか、都心のマンションがよいか。

加えて、来年か再来年でもう1人、子供が欲しいと考えています。今の家計でもそもそ住宅購入が可能なのかも心配になってきました。

何かよいアドバイスはないでしょうか。

## マイホーム購入を検討中

◎小倉北区在住 会社員Sさん家族  
夫30歳(会社員)、妻28歳(会社員)、長男1歳

月間収入		年間収入	
夫(手取り)	265,000円	賞与(夫)	650,000円
妻(手取り)	145,000円	計	650,000円
児童手当	15,000円		
計	425,000円		
		【現在の貯蓄】	3,300,000円
支出		年間支出	
家賃(共益費・駐車場込)	85,000円	自動車税	50,000円
自動車ローン	19,500円	車検代	98,000円
食費	52,000円	計	148,000円
水道光熱費	18,000円		
通信費(電話代)	20,000円		
交通費(ガソリン/高速代)	10,000円		
日用品代	8,000円		
新聞代	3,500円		
洋服代	15,000円		
保育園	35,000円		
理美容代	14,000円		
お小遣い(夫)	30,000円		
お小遣い(妻)	20,000円		
自動車保険料	7,000円		
生命保険料(夫)	13,000円		
生命保険料(妻)	8,000円		
積立貯金	40,000円		
計	398,000円		

A まずは、大局から。ライフプランを行うことをお勧めします。

マイホーム購入の検討当初は、夢や希望が大きく膨らみます。一戸建てで家族でガーデニングをしたいとか、子供部屋や自分の書斎を確保したい、家具やキッチンが欧風にしたいなど考えることが楽しいことばかりです。

将来Sさんが、どのようなライフスタイルを送りたいか、子供の教育をどのように考えていくかによって、どれくらい物件が購入できるのかが見えてくると思います。そんなSさんには、ライフプランニングを行うことをお勧めします。

勿論それも大事ですが、Sさんが悩んでいるような一戸建てとマンションのどちらがよいのか、勤務先や実家との距離の問題、お子様の学区区やコミュニティとの相性などの課題の解消は、生涯住み続けるかもしれないSさんにとっては最重要課題ですね。さらに、これからは、夫婦の収入や家族構成の変化が予想されますので、家計の収支も自ずと変化することでしょう。

ここでのライフプランとは、金銭面からの生活設計のことを言います。Sさん家族の理想とする将来像に加えて、将来必要になる資金額やリスクを推測し、必要資金をどのように調達していくのかなどをライフプランナーと呼ばれる方と一緒に考えていきましょう。

具体的に子供の教育費だけ見ても、1人と2人では当然かかる費用も異なってくる。

ライフプランを作成することで、住宅ローンと教育費が重なる時期に、これからのような備えを行えば乗り越えられるかなどを把握できることもできることながら、ご夫婦で「お金に向き合う良いきっかけにもなると思います。

公立高校↓国公立大学の進学パターンで入学金・学費合計で、1人あたり約400万円位かかり、私立高校↓私立大学ですと、少なくとも約600万円位かかることが見込まれます。

ご家族のライフプランを立てた上で、お住まいにどれくらいの資金を充てることのできるのかを考えてみると良いでしょう。



(株) インシュアランスバンク  
ファイナンシャルプランナー

松下 祐輔

プロフィール  
1969年9月26日生まれの43歳  
今までに住宅ローンを融資実行した件数は約500件。AFP(日本FP協会認定)、住宅ローンアドバイザー、貸金業務取扱主任者、証券外務員1種。趣味:1年に1回フルマラソンを走る(年々タイムが更新し今年ベストの3時間50分)